

# 雷と突風及び強雨に伴う技術対策について

令和3年1月26日

農林水産部担い手支援課

北日本の低気圧からのびる寒冷前線が27日朝にかけて関東甲信地方を通過し、別の低気圧が日本の南を東へ進み27日夜にかけて伊豆諸島付近を通過する見込みです。これに伴い、千葉県では、27日未明から夕方にかけて大気の状態が非常に不安定となりますので、落雷や竜巻などの激しい突風、局地的な激しい雨に注意してください。

農作物や農業施設等への影響も考えられますので、下記の対策指導をお願いします。

## <事後対策>

### 1 園芸共通（野菜・花き）

- (1) 施設が破損した場合は、速やかに補修を行う。
- (2) ほ場に湛水している場合は水を早急に排除し、根腐れを防止する。
- (3) 施設内に雨水が流入した場合は、できるだけ速やかに排水し、水が引いた後に、ベッドを整形するとともに中耕する。
- (4) 潮風等を受けた場合は、速やかに真水で洗い流す。
- (5) 栽培中の作物では、土壌の表面が乾いてきたら、追肥用化成などを用いて追肥を行い、軽く中耕を行うことにより生育の回復を促す。
- (6) 風雨のあとは特に病害の発生に注意し、薬剤散布を行う。
- (7) 農薬を散布する場合は「農作物病害虫雑草防除指針」の防除法を参照する。
- (8) 無加温のハウスでは、施設内が多湿になり、病害が発生しやすくなるため、天候が回復したら、十分換気を行う。
- (9) 風害等により草勢が弱った場合には液肥の葉面散布を行い、草勢の回復を図る。
- (10) 落雷等により停電が発生する恐れがあるため、電源や設備の状態に注意する。

### 2 果樹全般

- (1) 樹が倒伏したものは、無理のない範囲で徐々に起こし、土寄せし支柱を立てる。
- (2) 潮風害を受けた地域では、風が収まった後、速やかに真水を葉面に散布し、塩分を洗い流す。
- (3) 園の排水に心がけ、滞水した場合は速やかに排水を図る。
- (4) 散布する殺菌剤は「農作物病害虫雑草防除指針」の防除法を参照する。
- (5) 収穫期を控えた果樹は、特に収穫前使用基準に注意する。